

授業科目名	乳児保育Ⅱ	教員名	小川美由紀	免許・資格との関係	小学校教諭	
					幼稚園教諭	
保育士	必修					
こども音楽療育士						
授業形態	演習	担当形態	単独	卒業要件	小幼コース	選択
科目番号	FOI103	配当年次	2年前期		幼保コース	必修
単位数	1単位					
科目						
施行規則に定める科目区分又は事項等						
科目	告示別表第1による教科目					
系列	保育の内容・方法の理解					
一般目標	「保育所保育指針」及び「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」に示された、乳児保育に関する専門的な知識や技能を学ぶ。0・1・2歳児の発達や、生活・遊びの過程を理解し、職員間の連携・協働等を活かした具体的な体制を想定した保育を構想する方法を身につける。					
到達目標	<p>(1) 3歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について理解する。</p> <p>(2) 養護及び教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について、具体的に理解する。</p> <p>(3) 乳児保育における配慮の実際について、具体的に理解する。</p> <p>(4) 上記(1)～(3)を踏まえ、乳児保育における計画の作成について、具体的に理解する。</p> <p>※「乳児保育」とは、3歳未満児を念頭においた保育を示す。</p>					
授業の概要	保育所・認定こども園で生活する0～2歳児が、食事、排泄、睡眠、衣類の着脱、身のまわりを清潔にするなどの基本的な生活習慣を、主体的に身につけていくための保育者のかかわり・援助について学ぶ。また0～2歳児の保育内容について映像や演習を通して体験的に理解し、実践する。乳児保育における指導計画、観察・記録及び自己評価についても具体的な理解を深め、保育現場での実践につなげていく。					
ディプロマ・ポリシーとの関係	本講義は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「5. 教育実践力を身につけている。」を育成する科目として配置している。					
授業計画	<p>第1回：「乳児保育Ⅰ」の振り返り／養護に関する基本的事項1 乳児保育における「子どもの主体性の尊重」について、保育所保育指針をもとに再考する。</p> <p>第2回：養護に関する基本的事項2～子どもの姿から考える～ 映像の中の子どもたちを「みる・ふれる・ためす」という視点で観察し、語り合う。</p> <p>第3回：乳児の生活 睡眠、栄養摂取、離乳食の概要、離乳の開始、排泄、衣服選びや着替えの援助についての知識を深める。</p> <p>第4回：1歳以上2歳未満児の生活 睡眠、食事、排泄、トイレトレーニング、着替え、安全についての知識を深める。</p> <p>第5回：2歳～3歳の子どもの生活 睡眠、食事、排泄、着替え、安全についての知識を深める。</p>					

	<p>第6回：0歳児の保育内容とその実際 保育内容の実際について、映像の観察、記録を通して学ぶ。</p> <p>第7回：1歳児の保育内容とその実際 保育の「導入」についてグループで考え、発表する。</p> <p>第8回：2歳児の保育内容とその実際 1 保育ウェブを用いて、クリスマス関連の保育内容についてグループで考える。</p> <p>第9回：2歳児の保育内容とその実際 2 グループで立案した保育内容を発表する。</p> <p>第10回：2歳児の保育内容とその実際 3 グループで立案した保育内容を発表する。指導・助言を受けた内容で、保育指導案を作成する。</p> <p>第11回：乳児保育における指導計画 全体的な計画に基づく指導計画と個別計画について具体的に理解する。</p> <p>第12回：観察・記録及び自己評価 乳児保育における観察の視点及び記録のポイントについて理解する。</p> <p>第13回：職員間・地域の関係機関との連携 職員間・地域の関係機関との連携が必要な場合の対応について、事例から学ぶ。</p> <p>第14回：子どもの生活と遊びが豊かになる保育環境 保育所で工夫されている「魅力ある環境」について知り、保育現場での実践につなげる。</p> <p>第15回：まとめ 子どもの主体性を尊重した乳児保育についての考えを深め、健やかな生活や遊びを支えるための保育者の在り方について考える</p> <p>単位試験</p>
学生に対する評価	<p>試験 50%、レポート提出 30%、ワークシート・授業外学習 20%をもとに総合的に評価する。 なお、レポート・授業外学習等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コメントを記載して返却する。 ・授業またはオフィスアワーに、口頭で行う。 ・回答例を配付する。
時間外の学習について	<p>(事前・事後学習として週4時間以上行うこと。)</p> <p>◎提出課題・授業外学習プリント：講義の内容に対応した課題または授業外学習プリントを適宜配付する。予習として取り組んだ場合には、不明な点等を明確にしておくこと。また演習の内容について自分なりに復習し、提出期日までに理解しておくこと。</p>
テキスト	『はじめて学ぶ 乳児保育 第三版』 志村聡子 編著 同文書院
参考書・参考資料等	<p>「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」</p> <p>「乳児保育 演習ブック [第2版]」松本峰雄 監修 ミネルヴァ書房</p> <p>「乳児の保育 新時代」乳児保育研究会</p>
担当者からのメッセージ	生きる根っこを育む0・1・2歳児の保育について学び、乳児保育の実践力を高めましょう！
オフィスアワー	火曜日の放課後（メールでアポイントを取ること）